

NO LEARNING, NO LIFE ～大学院生、海外留学の巻～



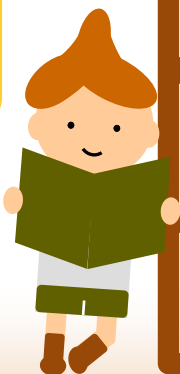
あけましておめでとうございます。
 本年もどうぞよろしくお願いたします！
 新年最初の特集は「海外留学」。
 台湾に一年間留学されていた
 人環の大学院生の方に、留学生活のあれこれを
 じっくりお伺いしてきました。
 留学を考えておられる方は必見です！

特集

NO LEARNING, NO LIFE

～大学院生、海外留学の巻～

特集は裏面へ★



京都大学 人間・環境学研究科総合人間学部図書館

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075 (753) 6524, 6525

Fax : 075 (753) 6896

Email : eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

HP : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/>

Twitter : @jinkansoujinlib



L

i

b

r

a

r

y

N

e

w

s

l

e

t

t

e

r

図書館報『かりん』を発行しました

館名『かりん』の由来

カリンとは中国原産のバラ科の落葉高木です。4～5月に淡紅色の可憐な花が咲き、10～11月頃には黄色く熟した楕円形の実が生ります。中国の古い詩に「我に投ずるに木李(カリン)を以てす、これに報ゆるに瓊(たま)を以てせん」(彼女は花梨の実をくれた、私はお返しに美しい珠を贈ろう)とあり、カリンは長いよしみをなす意とも女性の求愛に男性が応える意とも言われます。図書館報『かりん』は、図書館前の樹木、カリンにちなんでいます。香り高いカリンのように、内容豊かで、世代や分野を問わず幅広く多くの方々に愛されるように、また、利用者の学習や研究成果に結実できるようにという願いをこめて、「かりん」と名づけられました。館内にて配布中ですので是非ご覧ください。



巻頭言

電脳読書 宮本 嘉久

声

猫喫茶としての図書館 開 信介
 やあ、もちろん 森口 遥平

新しい一歩

破れかぶれな一歩 篠原 資明
 本に背中を押されて新しいステップを刻んだ 菅原 和孝
 ためらいと見境ない決断 瀬戸口 浩彰

自著を語る

グループ・ダイナミクス入門 杉万 俊夫
 治承・寿永の内乱と平氏 元木 泰雄
 政策研究のための統計分析 浅野 耕太

特別図書紹介

平成24年度 特別図書
 英國國家圖書館藏敦煌遺書 辻 正博

特別寄稿

『ゆとり京大生の大学論』ができるまで—ある学生から見た大学組織改革
 安達 千季



Follow me ! “@jinkansoujinlib”



電子ジャーナルの適切な利用について

今年度に入り複数回、特定のタイトルの電子ジャーナルへのアクセスが遮断されました。本学で電子ジャーナルの不適切な利用(大量アクセス等)が発生したと認識されたことによるものでした。現在は、アクセス遮断は解除されています。

電子ジャーナルの利用にあたっては、供給元である出版社が使用許諾条件を定めています。どの出版社においてもおおむね以下の事項は禁止されています。

- 大量のダウンロード(注)
 - ・プログラム等を利用した自動操作による一括したダウンロード
 - ・特定の雑誌の巻号をまとめてダウンロード
- 個人利用以外の利用
- 複製や再配布

一部の出版社は、本文に限らず、目次やアブストラクトも含め、すべてのページに過剰な頻度でアクセスし、サーバに負荷をかける行為を禁止しています。

使用許諾条件に違反した場合、大学全体の利用制限等のペナルティが科せられることもありますので、遵守してください。キーボードを押し続けていると、意図せず大量ダウンロードしてしまうことがありますので、お気をつけください。

注:PDFファイルなどを開いて、本文をパソコンの画面に表示すること自体が「ダウンロード」となります。自分のパソコンに保存しなくても、「ダウンロード」と見なされます。



冬季特別貸出が終了します

冬季特別貸出が終了します！返却し忘れることのないようご注意ください。読み終わった本はお早めに図書館までお持ちください。

下記期間に貸出・更新された本が対象です。特別貸出の図書は更新出来ませんので全て【1月10日(金)】までにご返却ください。

学部生:12月13日(金)~26日(木)
院生/教職員:11月29日(金)~12月9日(月)

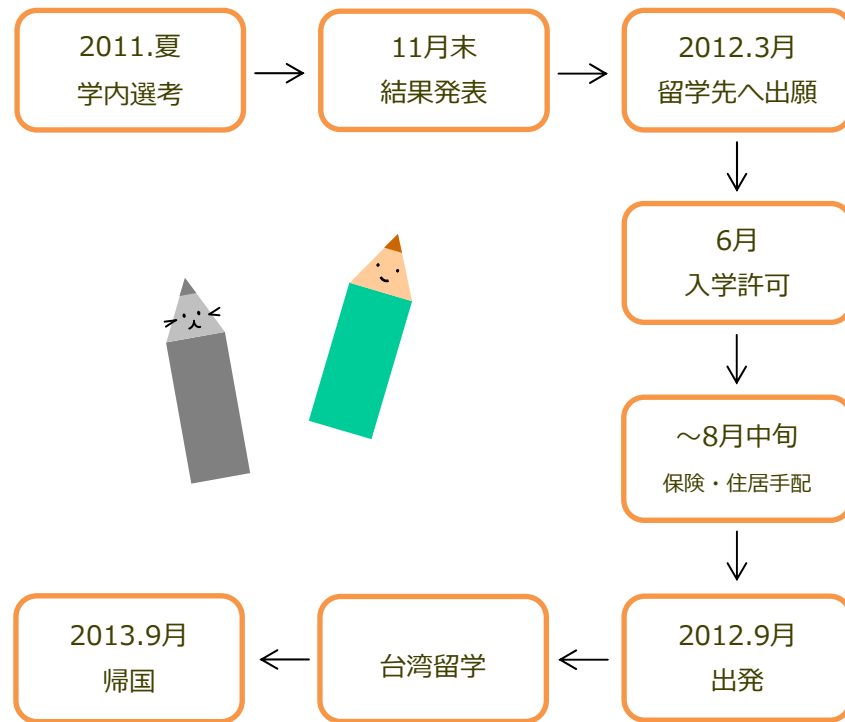
返却期限日を超えて借用された場合、貸出超過期間と同じ期間資料の貸出が出来なくなります。



返却期限日 一月十日
特別貸出の図書は更新できません

今回は、人間・環境学研究科修士課程3回生のN.Rさんに2013年11月に行ったインタビューをまとめました。短期間で終わる海外調査や海外旅行と違い、1年間を海外で過ごしながら勉強するとはどのようなものなのでしょうか。

はじめに、2012年9月から、国立台湾大学(台北)に交換留学したNさんの、申請から帰国までの一連の流れを見ておきましょう。



—実際の留学までに時間がかかるのですね。

N: 交換留学の場合は、留学開始のおよそ1年前から手続きをする必要がありますので、計画的に準備せねばなりません。出国前は、健康診断や宿舍への送金など、ばたばたしました。台湾のビザ申請に必要な健康診断には、一般的でない検査項目も含まれていたとのことで、受け取るまでに3週間程度かかっています。思いがけず時間を費やしてしまうこともあるので、余裕を持って動いたほうがよいと思います。

—こうした手続き以外に、語学の面で、事前に準備していたことはありますか？

N: 全学共通科目の中国語授業に出席していました。なお、台湾大学には語学力の証明書を提出する必要がなかったため、中国語検定などの勉強はしていません。その他には、台湾人と週に一度、「語言交換」を行っていました。お互い、日本語と中国語の練習をする時間です。私は主に、長い中国語の文章を読んで、発音を直してもらっていました。

—何故台湾に留学しようと思ったのですか？

N: 最初は漠然と中国に行こうと思っていました。ところが、語言交換相手の台湾人と知り合ってから、意識が変わりました。彼女は台湾大学からの交換留学生だったので、台湾大学ではどの先生がどういった授業をしているかについて、よく話してくれたのです。台湾大学ならば、充実した留学生在活が送れるだろうと思いましたが、「あなたが(京大に)来たから、次は私が(台湾大学に)行く」と言って、台湾大学に交換留学申請をすることに決めました。

—では、留学先での授業について教えてください。

N: 台湾大学は、前期が9月初旬から1月初旬、後期が2月下旬から6月中旬です。ずいぶん長い夏休みがあります。授業は、1コマ50分単位の2コマないし3コマで、コマの間に10分間の休憩を挟みます。1限の開始時間は8時10分です。

—具体的にどのような授業を受講されていましたか？

N: 慣れるまでは、学部生が中心で、ある程度私自身が知っている内容の授業、たとえば「中国文学史」や「世説新語*1」などに出ていました。後期になってから、大学院の授業を取り始めましたが、それまでの講義形式とは異なり、討論が基本となります。その他、日本語の論文を中国語に翻訳する講義などにも出席していました。また外国籍の学生は、語学(中国語)の授業が必修なので、週に10コマ前後あり、毎回必ず大量の宿題が出されていました。

—台湾大学に実際に留学されて、どのように感じましたか？

N: 台湾大学は、京都大学と同様に長い歴史を持っており、広大な敷地に伝統ある建物が並び、大変環境のよいところです。キャンパスの中央には図書館が位置しています。ここには相当数の蔵書があり、日本の書物も多く見られます。私は、出国直前に受講していた集中講義の関係で、江戸時代の文学に関するレポートを台湾で書くことになりましたが、ほぼ困らないだけの資料は揃っていました。

—では、ここからは台湾での生活についてもお聞きしたいと思います。気候はどのような感じでしたか？

N: 台湾、特に台北の冬は大変冷え込みます。暖房のない国なので、カイロで暖を取っていました。夏場はたしかに暑いですが、さほど辛いとも思いませんでした。私にとっては、とにかく冬の寒さが一番辛かったです。また年間を通して雨が多く、湿度が高いため、油断しているとカビが生えます。

私は事前に台湾人から話を聞いて情報収集していたつもりでしたが、相手にとって当たり前のことは、教えてもらえない可能性があります。台湾には暖房がないことに、行ってから気付きましたし、実際に台湾人から「**当たり前すぎて、伝えるのを忘れていた**」と言われました。

—台北の様子はどうでしたか？

N: いたるところに飲料店があります。台湾の果物は美味しいので、旬の果物を使ったジュースをよく買いましたし、お茶の種類も多く、タピオカやアイスクリームを入れてもらって飲んでいました。また、早朝から飲食店が営業してお粥などを提供していますし、コンビニもたくさんあります。

交通機関については、台北ならば地下鉄網が張り巡らされているので大変便利です。バスやタクシーにも安く乗れます。ただ、道を歩く時は、車やバイクに気を付けたほうがよいと思います。運転がかなり荒いのです。

—留学先の住居について教えてください。

N: 私は台湾大学の宿舍に住んでいました。大学の正門から徒歩5分くらいの宿舍エリアにあり、十数階建てが並んでいます。台湾人の学生は、大学内の宿舍で2人ないし4人で生活するのが一般的ですが、外国籍の学生は浴室付きの個室です。10畳程の部屋には、机やベッド、冷蔵庫なども備え付けられていました。

—最後に留学を終えられて、「事前にこうしておけばよかった」と思うことはありますか？

N: 細かいことならいろいろあるでしょうけれど、それよりも、こうしておいてよかったと思うことのほうが、私の中ではっきりしています。

NO LEARNING , NO LIFE

～大学院生、海外留学の巻～

Special Interview



台湾では最後まで、大変ひどい中国語を話して過ごしていましたが、唐詩の暗唱だけは上手くできたと思っています。中国や台湾の人は小さいころから詩の暗唱をしていますので、有名な詩なら誰でも知っています。ですので、私が唐詩を口ずさむと、あなたは日本人なのによく知っていると言われましたし、また話している時に、相手が詩の一句をはさむこともあり、反応できれば感心されます。

この唐詩の暗唱は、道坂昭廣先生(人間・環境学研究科教授)の中国語の授業で練習しました。「唐詩三百首*2」の中から毎週一首ずつ覚えて、授業の最後に先生に聞いてもらいます。そのおかげで、有名な詩を暗唱できるようになりました。道坂先生は、その時に、**古典詩を知っていることが教養だ**とおっしゃっていました。台湾大学の先生や学生が、私に常に興味を持ってくれていたのは、ここにあって、私自身はそう考えています。

—留学を経験された感想を一言お願いします。

N: 留学する3か月ほど前に、国立政治大学(台湾)の先生が京大に来られて、「台湾に着いたら連絡して」と名刺をいただいていた。私は政治大学へ聴講に行くことがあったのですが、その時は、他の先生や院生を紹介して下さったり、食事に連れて下さったりと、申し訳ないくらいよくしていただきました。また、交換留学期間を終えて既に台湾大学に戻り、「待っているから」と言ってくれる友人もいました。友人たちも、いろいろ案内してくれましたし、授業のことや中国語のことで随分面倒をみてくれました。台湾で、この政治大学の先生や、また台湾大学の友人たちに、どれほどお世話になったか分かりません。もちろん留学前から、現地に知り合いがいるのは心強いですが、また迷惑を掛けることにもなるだろうとは思っていましたが、今は(台湾にいた時も)、**人とのつながりに助けられた**と心からそう思います。

—ありがとうございました。

[編集部より注釈]

*1: [せせつしんご] 中国の逸話集。現存本は3巻。六朝時代(3世紀初から6世紀末)の南朝宋の劉義慶(りゅうぎけい)編。竹林の七賢など、後漢末から宋初までの貴族・文人・僧侶などの逸話を集めたもの。

(デジタル大辞泉、出典<<http://www.jkn21.com>>(参照 2013-12-13))

*2: [とうしさんびやくしゅ] 中国、唐詩の選集。清(しん)の乾隆(けんりゅう)年間(1736-95)に蘅塘(こうとう)退士(そんしゅ)、無錫(むしやく)の人)が唐詩の中から各詩体ごとに数十首ずつ、合計310首を選び出して編集した。6巻。8巻本もある。『唐詩選』が初唐・盛唐に偏り、中唐・晩唐の作が少ないのに対し、本書は人口に膾炙(かいしや)する作を網羅して唐代の詩の概観には便利であり、特に家塾の課本として流行し多くの版がある。注釈書としては、清の陳婉俊(ちんえんしゅん)の『唐詩三百首補注』(1956)がすぐれる。

(世界文学大事典、出典<<http://www.jkn21.com>>(参照 2013-12-18))

開館日程表



9:00-20:00

10:00-15:00

休館（日・祝日、28日定例休館日）

1月

10日(金) 冬季特別貸出返却期限日

後期試験期のため28日(定例休館日)も開館します。

1 12月29日-1月6日: 冬季休館

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3

3月26日-4月3日: 春季休館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

A HAPPY NEW YEAR !



環 on Library ねおん

「環on(わおん)」(人環棟1F)

開室: 平日9:00-17:00

本館の定例休館日も開室

休室: 土日祝日ほか

(本館の休館日と同じ)